

昭和 33 - 34 年の WHEELHOUSE, CONTROL ROOM

1) W33 - 01

「船の科学」1958-4 VOL.11 NO.4 より

・輸出油槽船「VIOLANDA」

WHEEL HOUSE

DW : 47,000 英トン

・船主 : N.J.Goulandris Ltd.

・建造 : 日立造船(株) 因島工場

昭和 33 年 2 月 19 日 引渡し

- ・操舵スタンドの前に磁気コンパスが装備されている。
- ・後壁には電話機が見える。



2) W33 - 02

・1)と同じ船の RADIO ROOM

・送信機も組み込んだラックタイプか。

左側は送信機、中央下部は受信機、右側下部も受信機と思われる。



3) W33 - 03

「船の科学」1958-5 VOL.11 NO.5

・定期航路貨物船「ほのるる丸」

WHEEL HOUSE

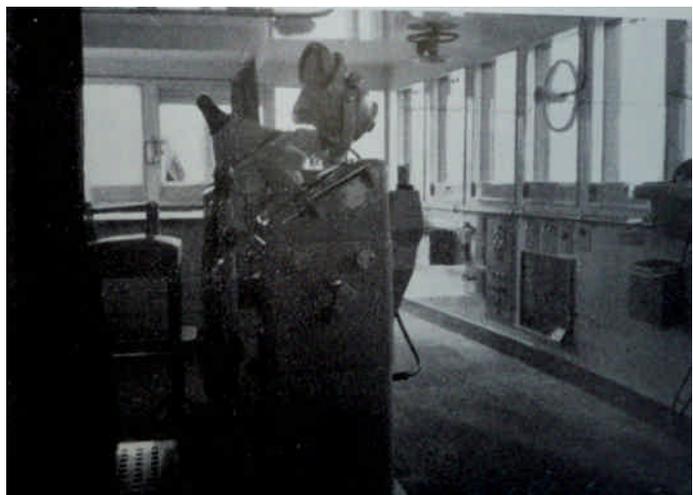
DW : 11,949 Kt

・船主 : 大阪商船(株)

・建造 : 新三菱重工業(株) 神戸造船所

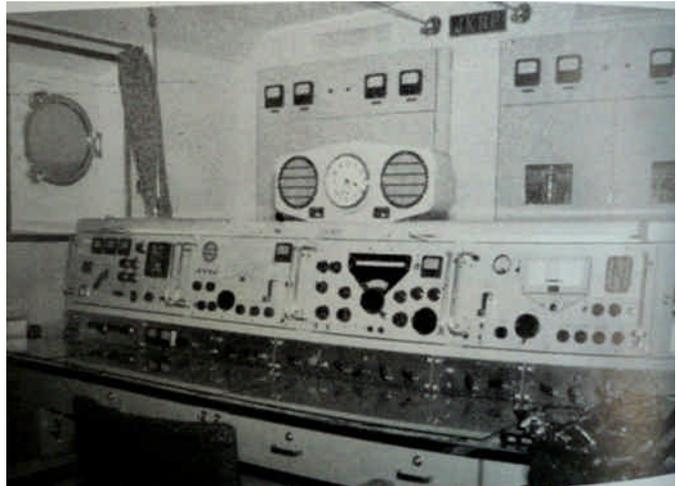
昭和 33 年 2 月 8 日 引渡し

- ・右舷側にレーダ指示機が見える。
- ・前窓に Clear View Screen (旋回窓) が装備されている。当時としては珍しい。



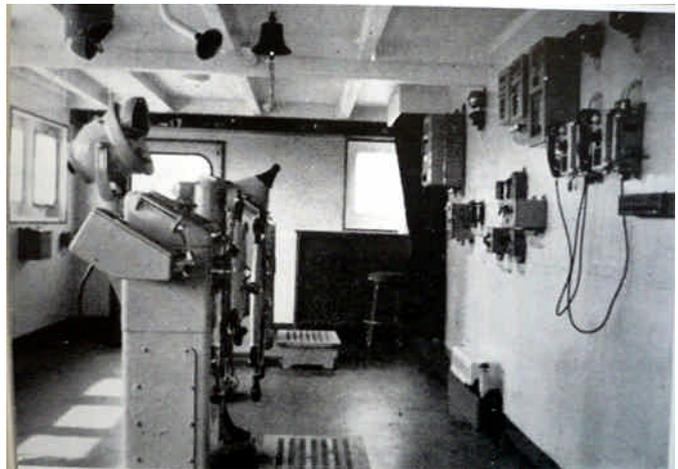
4) W33-04

- ・ 3)と同じ船の RADIO ROOM
- ・ 手前は受信コンソール、受信機が3台見える。
- ・ 奥は送信機
- ・ 中央に時計が見えるが、沈黙時間の表示はされていない。



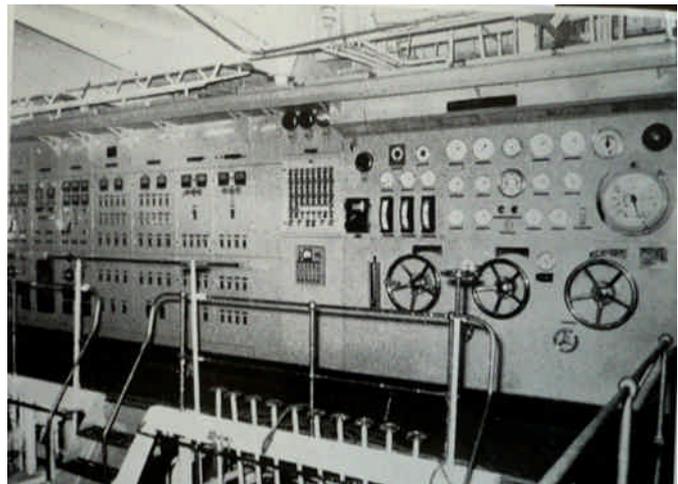
5) W33-05

- 「船の科学」 1958-7 VOL.11 NO.7 より
- ・ 13次貨物船「ねばだ丸」 WHEEL HOUSE
DW : 13,326 Kt
 - ・ 船主 : 川崎汽船(株)
 - ・ 建造 : 川崎重工業(株)
昭和33年5月20日 竣工
 - ・ 中央に操舵スタンド、右舷側にレーダ指示機、後壁に電話機、コースレコーダなどが見える。
 - ・ 天井に反映式コンパス、Voice Tube、鐘が見える。
 - ・ 当時の標準的な配置と思われる。



6) W33-06

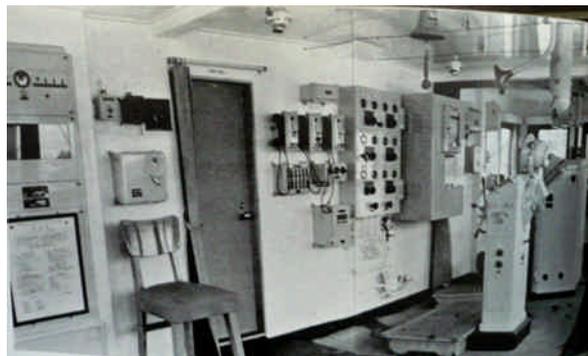
- 「船の科学」 1958-7 VOL.11 NO.7 より
- ・ 油槽船「JEANNE MARIE」号
Eng.Roomの主配電盤とゲージボード
DW : 39,694 LT
 - ・ 船主 : OCEAN OIL ASSOCIATES
 - ・ 建造 : 川崎重工業(株)
昭和33年1月31日 引渡し



7) W33-07 「山若丸」 WHEEL HOUSE 前壁



8) W33-08 「山若丸」 WHEEL HOUSE 後壁



「船の科学」 1958-8 VOL.11 NO.8 より

・高速貨物船 「山若丸」 DW : 12,728Kt

・船主 : 山下汽船(株) ・建造 : 日立造船(株) 桜島工場 昭和33年5月26日 引渡し

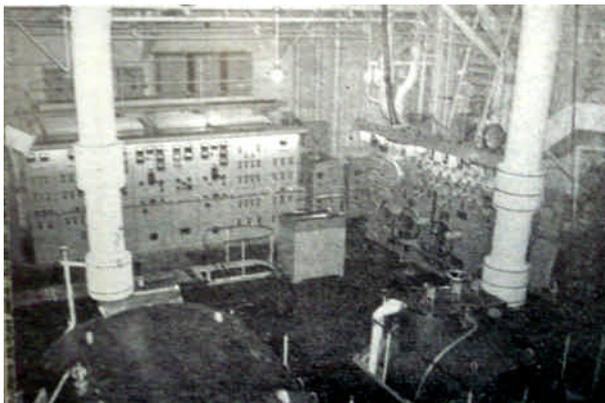
・7) は前壁、右舷側にエンジンテレグラフが見える。右舷側天井のハンドルはラウド・スピーカ用、スピーカが回転できるようにしたもの。前壁上部には航海計器が並んでいる。

・8) は後壁、操舵スタンドの左にレーダ指示機が見える。

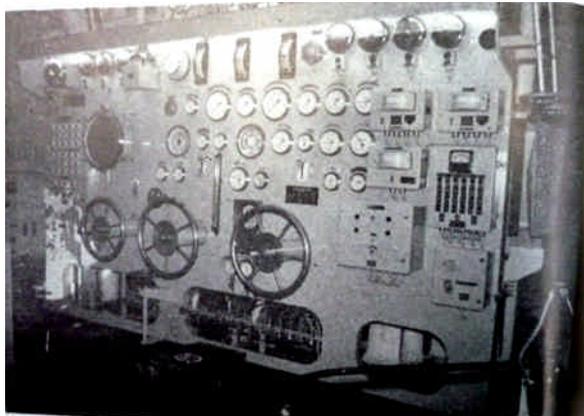
9) W33-09 「剛邦丸」 WHEEL HOUSE



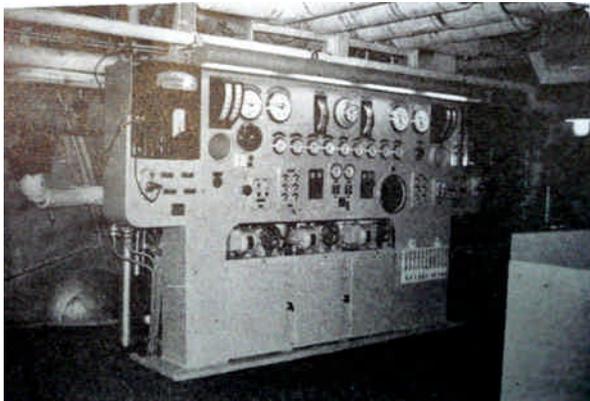
10) W33-10 「剛邦丸」 主機関室



11) W33-11 「剛邦丸」 機関室計器盤



12) W33-12 「剛邦丸」 缶室計器盤



・9) ~ 12) 「船の科学」 1959-1 VOL.12 NO.1 より

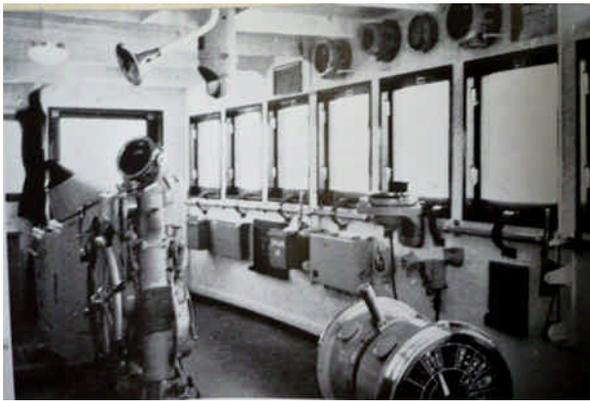
・船主 : 飯野海運(株) ・建造 : (株) 播磨造船所

・油槽船 「剛邦丸」タービン船 DW : 47,248 Kt

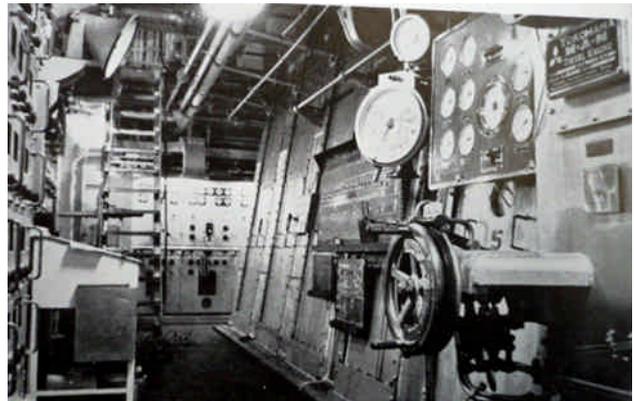
昭和33年11月11日 竣工

・まだ CONTROL ROOM がない時代のタービン船の計器盤の状況が窺える。

13) W33-13 「宗島丸」 WHEEL HOUSE



14) W33-14 「宗島丸」 ENGINE ROOM



- ・13) 14) は「船の科学」 1959-3 VOL.12 NO.3 より ・高速定期貨物船「宗島丸」DW: 12,093 Kt
- ・船主 : 飯野海運(株) ・建造 : 飯野重工業(株) 舞鶴造船所 昭和33年11月29日 引渡し
- ・WHEEL HOUSE の配置はほぼ固まってきたのが窺える。中央に操舵スタンド、左舷にレーダ指示機、右舷にエンテレ、前窓の上には各種の航海計器、天井に磁気コンパスの反映筒、伝声管(Voice Tube)など。
- ・14) は ENGINE ROOM の主機前の計器盤。

15) W34-01

- 「船の科学」 1959-9 VOL.12 NO.9 より
- ・Car Ferry 「CITY OF NEWORLEANS」の W/H
積載重量 : 6,176 Lt
車両搭載数 : 大型貨車 58 輛
- ・船主 : West India Fruit & Steam Ship Co., Inc.
- ・建造 : (株) 呉造船所 昭和34年8月7日 引渡し
- ・配置は標準的である。扇風機が見える。まだエアコンは装備されてなかった。



16) W34-02 「長栄丸」 W/H



17) W43-02 「長栄丸」 RADIO ROOM



- ・「船の科学」 1960-3 VOL.13 NO.3 より ・スーパタンカー 「長栄丸」 DW: 47,783 Kt
- ・船主 : 日東商船(株) ・建造 : (株) 播磨造船所

[メモ]

- 1) WHEEL HOUSE の配置は固まってきた感じがする。
- 2) RADIO ROOM もコンソール化が進み、配置がすっきりしてきた。
- 3) ENGINE ROOM の計装は計器盤への集約が進んできているが、まだ CONTROL ROOM は現れていない。